

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第 3333 回例会 (令和 3 年10月20日・水)

今週のプログラム

10月20日 (水) ゲストスピーチ

「木次線と脱炭素」

雲南市 副市長 よしやま おさむ 吉山 治氏

次週のプログラム

11月10日 (水) ゲストスピーチ

「インフルエンサーマーケティングについて」

FISM(株) 経営企画 こやなぎけんじ 兼 出雲オフィス責任者 小柳兼嗣氏

2021年10月～11月の予定

10月23日(土)～24日(日) 地区大会

24日(日) 本会議 とりぎん文化会館
10:00～17:00 (予定)

記念講演 国際政治学者 三浦瑠麗氏

※交通手段 松江4クラブ貸切バス

JR松江駅南口ユニバーサルホテル横 6:45発

※ 10月27日(水) 休会

10月27日(水) 若手ロータリアン候補育成勉強会 (YRCA)第4回
ホテル一畑 1F「松」
12時30分～13時30分

※ 11月 3日(水) 祝日 例会なし

11月10日(水) 定例理事会

11月20日(土) ①おろち号とたたらの旅 小冊子による
トロッコ列車PRプロジェクト
②コロナ禍のたたら国トロッコ列車
で木次線活性化PRプロジェクト

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
※ 10月26日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく (予定)
予定の為、中止、変更の場合はお知らせします。		
10月27日(水)	大 社	出雲商工会内事務局(大社町柵1344)
11月 1日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
11月 2日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
11月 4日(木)	松 江 東	ホテル一畑
11月 5日(金)	米 子	ANAクラウンプラザホテル米子1F
11月22日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
11月24日(水)	大 社	出雲商工会内事務局(大社町柵1344)
11月25日(木)	松 江 東	ホテル一畑
11月29日(月)	米 子 南	ANAクラウンプラザホテル米子1F

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため状況により急遽変更(ビジター受付なし)もごさいますので事前に事務局へ確認願います。

第3332回例会記録

令和 3 年 10 月 13 日 (水・曇り時々小雨)

会員数 66名

出席者数 39名

欠席者数 27名

出席率 67.24% (出席免除会員含む)

前々回補正 93.75%

■ビジター なし

■メーカーキャップ 天野 (松江しんじ湖)
飯盛、井上、今村、内海、艸葉、櫻井、角、高梨、辻、中司、堀江、山崎 (オンライン)
長岡 (理事会)

会務報告

小林会長

● 本日は会員スピーチ

日本海テレビジョン放送(株)執行役員 やまおよしみ
島根総局長 山尾義己会員

● 9月15日の歴代会長会において2023-24年度会長予定者に大野光徳会員をご推挙頂きました。大野光徳会員のご了解を頂き10月6日の理事会で承認されましたのでお知らせいたします。

委員会報告

● 親睦・出席委員会 谷口正親睦・出席委員長
出席報告

● 公共イメージ委員会 川内委員長
ロータリーの友10月号の紹介

プログラム

「日本海テレビの今とこれから」

日本海テレビジョン放送(株)執行役員 やまおよしみ
島根総局長 山尾義己氏

ニコニコ箱

30,000 円

小林（次々年度会長を大野会員にお引き受け頂きました。ありがとうございます。）

小林、佐藤、福田（山尾会員のスピーチを楽しみにしています。）

木村、長野、細田、川内、佐長、大野、高梨（結婚月）

川内（出席100%賞）

伊原（誕生月）

ベストメッセージ賞：該当者なし

司会 木村俊一郎会場監督

【10月理事会報告】

承認事項

・2023-24年度会長予定者 大野光徳会員

9月15日歴代会長会報告

報告事項

・地区大会バス2台の件

・11月20日開催の「トロッコ列車で木次線活性化プロジェクト」の件

地区補助金決定通知あり

島根県経済文化振興会助成金決定通知あり

ひとこと
随想

コロナ後の新しい働き方



かとう たかひろ
加藤 隆宏

初めまして、加藤隆宏と申します。日本政策投資銀行の松江事務所長として赴任し、この7月より松江での新生活をスタートさせました。ロータリークラブへの入会は私にとっては初めての経験であり、動き方もよく分からず色々皆様御厄介になるかとは思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

社会人になってから25年以上働いておりますが、このようなコロナ禍での異動は初めての経験であり、前任地の東京でお世話になった方々への御報告や、新たにご挨拶を申し上げなければいけない松江の皆様方へのご訪問など、いつもとは勝手が違って手探りのことばかりでした（結果として着任のご挨拶だけで3ヵ月も要してしまいました・・・）。

このような状況で、以前とは我々の働き方が異なってきている、アフター・コロナでは恐らく元の働き方には100%は戻らないだろうな、ということ最近つらつらと考えております。

非常にわかりやすいところから申し上げます、皆さまも感じられている通り、これだけ往来が閉ざされていて相互に出張ができない環境下でも、世の中の経済活動、日々の業務は相応に進んでいるという実態です。礼を尽くし時間を割いて相手に会いに行くことは非常に大事なことですし、今後なくなるとは思いますが、お互いによく見知った相手であれば、どちらかが時間を割いて会いに行かずとも、Webミーティングで用を足せることは沢山あるのではないのでしょうか？特に社内の会議などは、真っ先にWeb化が求められる分野かもしれません。Web会議をしてみると、これ

はこれで非常に便利な面もあり、ミーティングに要する往復の時間の節約たるや、会社全体、日本全体にすればかなりの生産性向上につながると思います。

また、業務を如何にペーパーレス化し、Web上、乃至はPC内での作業に置き換えるかも大事だと思います（世間でいうところのDXですね）。福祉やサービス、メーカーのラインなど、置き換えられない業務も多数あると思いますが、置き換えられない部分を如何に狭小化していくかが、今後大事なのではないかと感じています。

少々異なる話ですが、こんな事例があります。前職では、ご家族の転勤で東京を離れる社員の方に、これまでであれば退職の選択肢しかなかったのですが、優秀な社員にやめてほしくはなかったので、ご家族の赴任先からのリモートワークという形で業務を継続した事例をいくつか作りました。勤務場所を選ばない働き方というのも、今後、相応に出てくるのかもしれませんが、勤務時間に自由度を与え、小さなお子さんのいらっしゃる主婦の方でも、隙間時間に働いていただける環境を作ることも大事だと思います。これはDXとは直接関係のないことなのかもしれませんが、多様な労働環境を作ることが、差し迫る人口減の世の中では大事なことだと感じています。我々がせっかく育てた人財ですから、やめざるを得ない状況はもたないと思います。長く働いてもらえる環境を作ることが、こういった社会問題に対する解決策の一つなのかなと最近つらつらと思っています。

（政策投資銀行）